

# 日本看護歴史学会 会報

日本看護  
歴史学会  
第62号  
2014年8月1日

## 日本看護歴史学会 第28回学術集会の開催にあたって

学術集会長 滝内隆子（岐阜大学）



日本看護歴史学会第28回学術集会は、2014年9月6日(土)・9月7日(日)、岐阜大学(岐阜)で開催させて頂くことになりました。岐阜での開催は今学会が初めてです。

今回の学術集会のメインテーマは「今、語りつぐ看護技術の教育」としました。近年、看護基礎教育の卒業時における学生の看護技術力の低下と併せて看護教員の看護技術力の低下が指摘され、これらの解決策として学内演習における臨床看護師との協働による看護技術教育の実施が厚生労働省から打ち出されました。しかし、本来、教育内容に責任のある教員には、学生にモデルとして提示できるだけの看護技術力が備わっているべきだと考えます。そこで、教員・学生ともに高い看護技術力が備わっていたと考えられる占領期に看護技術の教育を受けた方々を始めとして、その教育を受け継いでこられた先輩諸氏に、これからの看護技術教育への示唆を含めて語り継いで頂き、看護技術教育について皆様とともに考えることができればと思い、「今、語り継ぐ看護技術の教育」をテーマにシンポジウムを開催します。シンポジウム以外の学術集会1日目のプログラムは、教育講演Ⅰとして新海英行先生(名古屋柳城短期大学

学長)による「戦後の教育改革」、テーマセッションⅠとして紀ノ定保臣先生(岐阜大学医学部医療情報学教授)による「次世代につなぐ看護」をお話して頂きます。それと並行して、皆様の研究発表(口演・示説)、理事会主催のセッションを計画しております。さらに懇親会の後に篝火のもとでの幻想的な鶺鴒い見物も希望者を対象に計画しております。

学術集会2日目は、岐阜の地で日本看護歴史学会を開催するのは初めてになりますので、岐阜県の特徴が出るように一般公開プログラムとして鶺鴒匠の杉山雅彦氏による「鶺鴒い」、内藤記念くすり博物館学芸員の伊藤恭子氏による「江戸に学ぶからだと養生」、また、教育講演Ⅱとして、近藤真庸先生(岐阜大学地域科学部教授)による「岐阜県における養護教諭の歴史」についてお話して頂きます。さらに、テーマセッションⅡとして、若い世代に看護歴史への関心・興味を持って頂けるように「ヒストリー・カフェ」を開催し、佐々木秀美先生(広島文化学園大学副学長)にフローレンス・ナイチンゲールについてお話し頂きます。それ以外にも理事会セッションを計画しております。

日本一暑い市で有名な多治見市も岐阜県です。学術集会開催日は9月とはいえ、まだまだ残暑厳しい岐阜ですが、JR岐阜駅には「黄金の信長像」が出迎えておりますし、見上げると斉藤道三・織田信長の居城であつ岐阜城が見えます。「おもてなし」の心で精一杯準備を進めておりますので、一人でも多くの方々のご参加を心からお待ち申しあげております。

## 第28回学術集会プログラム

日 時：2014年9月6日（土）・9月7日（日）

会 場：岐阜大学医学部記念会館他

テーマ：今、語り継ぐ看護技術の教育

日 時		プ ロ グ ラ ム	
6日 (土) 9:30~ 16:20	9:00~	開場・受付開始	
	9:35~	会長講演	「占領期の看護技術の教育—現在の看護技術の始まり—」 滝内隆子（岐阜大学医学部看護学科教授）
	10:30~	シンポジウム	「語り継ぐ看護技術の教育」シンポジスト：川嶋みどり（日本赤十字看護大学名誉教授）、阿曾洋子（武庫川女子大学看護学研究科設置準備室 室長）、石井範子（秋田大学大学院医学研究科教授）
	12:10~	総会・昼食	
	13:00~	教育講演 I	「戦後の教育改革」新海英行（名古屋柳城短期大学学長）
		理事会セッション I	「戦争と看護—第2回傷病兵の看護—」 研究発表 示説 第1群~2群（8題）
	14:10~	テーマセッション I	「次世代につなぐ看護」紀ノ定保臣（岐阜大学医学部医療情報学教授）
		研究発表	示説 第3群~5群（12題）・口演 第1群~3群（8題）
	16:20	閉会	
17:30~	懇親会	鶴匠の家「すぎ山」・鶴飼見物（事前申込制、定員100名）	
7日 (日) 9:30~ 12:00	9:00~	開場・受付開始	
	9:30~	一般公開プログラム	特別講演 I 「江戸に学ぶからだと養生」伊藤恭子（内藤記念くすり博物館学芸員）
		教育講演 II	「岐阜県における養護教諭の歴史」近藤真庸（岐阜大学地域科学部教授）
	10:40~	理事会セッション II	特別委員会企画「看護師の特定行為に関する法制化に対する歴史的省察」
		一般公開プログラム	特別講演 II 「鶴飼」杉山雅彦（宮内庁式部職鶴匠副代表）
		理事会セッション III	研究活動推進委員会企画ワークショップ「研究活動の実践報告」
	11:40~	テーマセッション II	「ヒストリー・カフェ」佐々木秀美（広島文化学園大学副学長） 当日先着順80名
閉会			

特別展示「江戸に学ぶからだと養生」



## ◆学術集会参加・懇親会申し込み

7月11日までに事前参加申込みをされた方には講演集を8月中旬までにお届け致します。その後は当日受付によるご参加をお待ちしております。懇親会は事前お申込みにより定員100名（先着順）です。当日の

お申し込みはできません。詳細はホームページをご覧ください、お早めにお申し込みください。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

	会員	非会員	学生（院生除く）
当日受付	8,000円	9,000円	500円

## ◆一般演題（口演・示説）について

一般演題は口演8題、示説20題の計28題を予定しております。たくさんのご応募ありがとうございました。個人史、産婆の歴史、地方における看護職の活動や教育史、精神病院設立経緯や精神障害者の歴史等と内容も多岐にわたっており、いずれも興味深いご発表になることと思います。

## ◆テーマセッション・理事会セッション・ワークショップについて

テーマセッションを2題、理事会セッションを2題、そして研究活動推進委員会からワークショップ1題を予定しております。

テーマセッションの「次世代につなぐ看護」では、高度に発達した医療機関内部のIT環境や地域医療連携システムを活用して仕事をするスマーター・ナースに今後求められる知識と能力ついて、「ヒストリー・カフェ」では、高校生・看護学生等を対象に、「ナイチンゲール研究で増える「看護系歴女」を目指して」をテーマに講演頂きます。

理事会セッションでは、まず「戦争と看護—第2回 傷病兵の看護—」を予定しております。今回は数年に渡る研究をもとに第二次世界大戦時にフィリピンに派遣された日赤看護婦の活動と、日本の近代化と戦争遂行のために看護が果たした役割と影響、その現代的意味について話題提供していただく予定です。2つめの「看護師の特定行為に関する法制化に対する歴史的省察」も数年前から理事会で継続的に取り組まれている内容で、今年度はこの課題が医療歴史の優れた意思決定なのか、参加者とともに智慧を交換する企画として予定されています。

研究活動推進委員会によるワークショップでは、「研究活動の実践報告」として、本学会員の国内・国外における医学史・科学史・生物学史などの領域における「研究活動（一部）」を紹介する内容が予定されております。いずれの内容においても熱いディスカッションを期待しております。

	テーマ	話題提供者・講師・司会
テーマセッション	次世代につなぐ看護	講師 紀ノ定保臣（岐阜大学） 司会 藤村 龍子（東京慈恵会医科大学）
	ヒストリー・カフェ ナイチンゲール研究で増える「看護系歴女」を目指して	講師 佐々木秀美（広島文化学園大学） 司会 川原由佳里（日本赤十字看護大学）
理事会セッション	戦争と看護 —第2回 傷病兵の看護—	話題提供 鷹野 朋実（日本赤十字看護大学） 川嶋みどり（日本赤十字看護大学） 司会 山崎 裕二（日本赤十字看護大学）
	看護師の特定行為に関する法制化に対する歴史的省察	企画担当 藤村 龍子（東京慈恵会医科大学） 日下 修一（聖徳大学）
ワークショップ	研究活動の実践報告	話題提供 鈴木 紀子（東京医療学院大学） 丸山マサ美（九州大学） 司会 滝内 隆子（岐阜大学）

## ◆お問い合わせ 日本看護歴史学会第28回学術集会事務局

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1-1

岐阜大学医学部看護学科基礎看護学講座内

TEL &amp; FAX 058-293-3242(竹下) Email takeshit@gifu-u.ac.jp

学術集会HP <http://www.med.gifu-u.ac.jp/28jahsn/>

## 日本看護歴史学会 第29回学術集会開催のご案内 「歴史学の可能性と未来—空間と時間を越えて—」

第29回学術集会会長 城丸瑞恵

日本看護歴史学会第29回学術集会は、2015年8月22日(土)23日(日)に札幌市で開催いたします。日本の看護領域の学会の中でも、とりわけ歴史のある日本看護歴史学会を札幌医科大学が担当させていただくことは大変光栄であり、担当者一同張り切って準備を進めている次第です。

さて、第29回学術集会のテーマは「歴史学の可能性と未来—空間と時間を越えて」です。過去から現在、現在から未来に向けて歴史を学ぶことの面白さ・意義について皆様と意見交換をして深めることができたら幸いです。内容としては時間軸と水平軸から歴史の可能性と意義を考えるプログラムを構成中です。時間軸の視座からは、若い世代から看護の未来に対

する発信を意図したシンポジウムを企画しています。また、北海道は開拓保健婦(師)・開拓助産婦(師)、北海道アイヌの伝統的文化など独自の歴史があり、それらを現在・未来に語り継ぐセッションを考えています。水平軸の視座においては日本から海外に視野をひろげ世界遺産と看護に関連する歴史的意義について教育講演を企画しています。これらのプログラムの他に、看護が命をつなぐ役割を担うことから人間を含む動物が生命をどのように次の世代につなぐのか、またその意味について特別講演を検討しています。

本学術集会が皆様の未来への力になることを願い、今後も精一杯準備を行う所存でございます。皆様とお会いできることを楽しみにしております。

### 新入会員紹介(敬称略)

\* ( ) 内は会員番号 平成25年12月~平成26年6月入会

山内 麻江 (14001)	小黒 道子 (14002)
魚住 郁子 (14003)	飯塚 哲子 (14004)
茶園 美香 (14005)	小林 正弘 (14006)
澄川真珠子 (14007)	河村 靖子 (14008)
大塚 知子 (14009)	安田恵美子 (14010)
小池 智子 (14011)	門間 正子 (14012)
古川美紀子 (14013)	中井 夏子 (14014)
野中 静 (14015)	仲田みぎわ (14016)
尾藤 泰子 (14017)	森口 眞衣 (14018)
富永佐登美 (14019)	大霜由貴子 (14020)
一戸とも子 (14021)	荒木 美帆 (14022)
近藤さおり (14023)	

### お知らせ

#### ■事務局から

平成25年度会員動向(平成26年3月31日現在)

1. 会員数(特別会員1名を含む)	346名
2. 入会者数	29名
3. 退会者数	25名

#### 会費納入のお願い

平成26年度会費(6,000円)をまだ納入されていない会員の方はすみやかに納入をお願いいたします。事務局からお送りした払込取扱票を紛失された場合は、郵便局にある払込取扱票に口座番号「01010-1-52185」、金額「6000」(ただし、2年分未納の場合は12000)、加入者名「日本看護歴史学会」、通信欄に「会員番号」、ご依頼人の欄に「郵便番号・住所・氏名・電話番号」をご記入いただき、窓口かATMで払い込みください。3年間会費滞納の場合、退会となり会員資格を失いますのでご注意ください。

#### 所属・住所変更や退会の場合

所定の変更届や退会届(本会ホームページからダウンロードできます)を事務局にご提出ください。

#### 学会誌投稿論文の送り先

投稿論文の送り先は事務局(日本赤十字看護大学)ではありません。送り先は、〒182-8570 東京都調布市国領町8-3-1 東京慈恵会医科大学医学部看護学科 田中幸子(日本看護歴史学会誌編集委員会)宛となります。お間違えのないようお願いいたします。

#### 学会誌バックナンバーの販売

事務局が保管している学会誌と学術集会講演集のバックナンバーを会員・一般の方に販売しています。詳しくは学会ホームページをご覧ください。

#### 編集後記

台風、猛暑と厳しい夏となっております。第28回学術集会から新たな理事体制となります。現編集委員にとって最後の会報です。至らない点も多かったと思いますが、3年間ありがとうございました。(編集委員:小田正枝・鷹野朋実)

#### 日本看護歴史学会会報 第62号

企画・編集 小田 正枝(徳島文理大学)  
鷹野 朋実(日本赤十字看護大学)  
発行責任者 山崎 裕二(日本赤十字看護大学)  
印刷 有限会社 新和印刷  
事務局 〒150-0012  
東京都渋谷区広尾4-1-3  
日本赤十字看護大学  
山崎 裕二  
TEL 03-3409-0613  
e-mail yamazaki@redcross.ac.jp  
川原由佳里  
TEL 03-3409-0185  
FAX 03-3409-0589(代表)  
e-mail kawahara@redcross.ac.jp  
学会HP <http://plaza.umin.ac.jp/~jahsn/>